

コラム

世界初の水サミットの開催

特定非営利活動法人日本水フォーラム 事務局

1992年に開催されたリオサミットでの議論を受けて、持続可能な開発に向け、地球規模で深刻化しつつある水問題を解決するため、96年に世界的な水政策のシンクタンクとして世界水会議が設立された。世界の水問題を討議する世界水フォーラムは、世界水会議が主催し、97年から、3年に一度、世界水の日（3月22日）を含む時期に開催されている。2003年の第3回は京都を中心に開催された。

2006年に開催された第4回世界水フォーラム（メキシコシティ）のアジア・太平洋水閣僚会議において、アジア・太平洋地域、ひいては世界の水問題の解決に向けたゆるやかなネットワークとして、アジア・太平洋水フォーラムの設立が宣言された。同フォーラムの優先テーマは、「水インフラと人材育成」「水関連災害管理」「発展と生態系のための水」の3点で、「知識や経験の活用」「各地域の能力向上」「広報戦略の拡充」「投資効果のモニタリング」「フォーラムおよびサミットの支援」を活動の5つの柱としている。

このような背景の下、水問題は、人間の安全保障や国家の社会・経済発展の根幹にかかわる問題であるため、国家レベルでのリーダーシップの発揮が求められることから、アジア・太平洋水フォーラムの活動の一環として、世界初の水問題にかかわる首脳級の会合である「アジア・太平洋水サミット」が開催されることとなった。アジア・太平洋地域の首脳および産官学、市民団体、メディアなど各界のリーダーが、地域の水問題を解決するための具体的な政策について議論し、今後の活動方針・計画を発信していく。

第1回アジア・太平洋水サミットは、昨年12月に別府で開催された。全体テーマ「水の安全保障：リーダーシップと責任」の下、36カ国から約300名が参加した。開会式では、森喜朗同サミット運営委員長の開会挨拶に続いて、皇太子殿下、福田首相、トミー・コー アジア・太平洋水フォーラム執行審議会議長等からスピーチが行われた。分科会では、同サミットに向けて、アジア・太平洋水フォーラムが取り組んできた前記の3つの優先テーマおよび5つの活動の柱のほか、ヒマラヤ地域および島嶼国^{とうしょ}における地球温暖化の影響、アラル海流域の水の安全保障、水問題解決に向けた企業の協力等をテーマに議論が行われた。12月4日には、水問題に向けた各国政府の努力を促す「別府からのメッセージ」が発表されている。

2008年は国際衛生年にあたり、同サミットにおける議論は今後、国連の持続可能な開発委員会の第16会期における水問題レビュー会合、第4回アフリカ開発会議（横浜）、「水と持続可能な開発」をテーマとするサラゴサ国際博覧会、G8洞爺湖サミットを経て、2009年3月の第5回世界水フォーラム（イスタンブール）につなげられていくことが期待されている。

(資料1) 別府からのメッセージ (仮訳暫定版)

我々アジア・太平洋地域のリーダーは、各国のあらゆる分野を代表し、温かいもてなしのもと、日本国大分県の美しい都市、別府において開催された記念すべき第1回アジア・太平洋水サミットに結集し、次のような合意に達した。

- 人々が安全な飲料水と基本的衛生設備を入手することは、基本的人権であり、人間の安全保障の基本であることを確認する。
- この地域において安全な飲料水を利用できない人々の数を、2015年までに半減し、2025年までにゼロを目指す。
- 現在ほど水を必要としない新しい、革新的な衛生システムを採用し、基本的衛生設備の利用できない人々の数を、2015年までに半減し、2025年までにゼロを目指す。
- 水と衛生を各国の経済・開発計画や政治課題における最優先課題とし、水と衛生分野への資金配分を大幅に拡充する。
- 特に貧困層に大きな影響を及ぼすゆえに、水管理に関するすべての面で、ガバナンス、効率性、透明性、公平性を向上させる。女性は社会的弱者である一方、粘り強い活力を有し、進取的である。従って、すべての水関連活動において、女性の能力を向上させなければならない。
- 洪水、干ばつ、その他水関連災害の発生を防止、削減し、犠牲者を適時に救援、支援できるように、早急に効果的な行動をとる。
- 気候変動の影響を受けやすい島嶼国^{とうしょ}における、生命・財産を守る取り組みを早急に支援する。
- ヒマラヤ山脈地域における冠雪・氷河の融解や、海面上昇等、地域の一部の国ではすでに気候変動の影響が現れている。水と気候変動の関係を議題に組み入れるよう、バリ会議に提言する。
- 2008年に開催されるG8北海道洞爺湖サミットに向けて、具体的な目標を設定する。
 - ・ 発展途上国がMDGsの水と衛生に関する目標を達成できるよう、支援を行う。
 - ・ 発展途上国による、気候変動への適応を支援するために、直ちに行動を起こす。
- 各国は、閣内にあるハイレベルの調整システムの権限を拡大する。可能な国では水担当大臣を任命し、水と衛生に関するすべての問題を統合的に扱う。
- 都市の水路網を修復し、及び農村地域の環境の健全性を保全するなど、この地域の水に育まれた社会の豊かな歴史を尊重する。
- 水の安全が保障されたアジア・太平洋地域という地域全体のビジョンを達成するために、志を一つにするすべての団体、個人が力を合わせて取り組む。

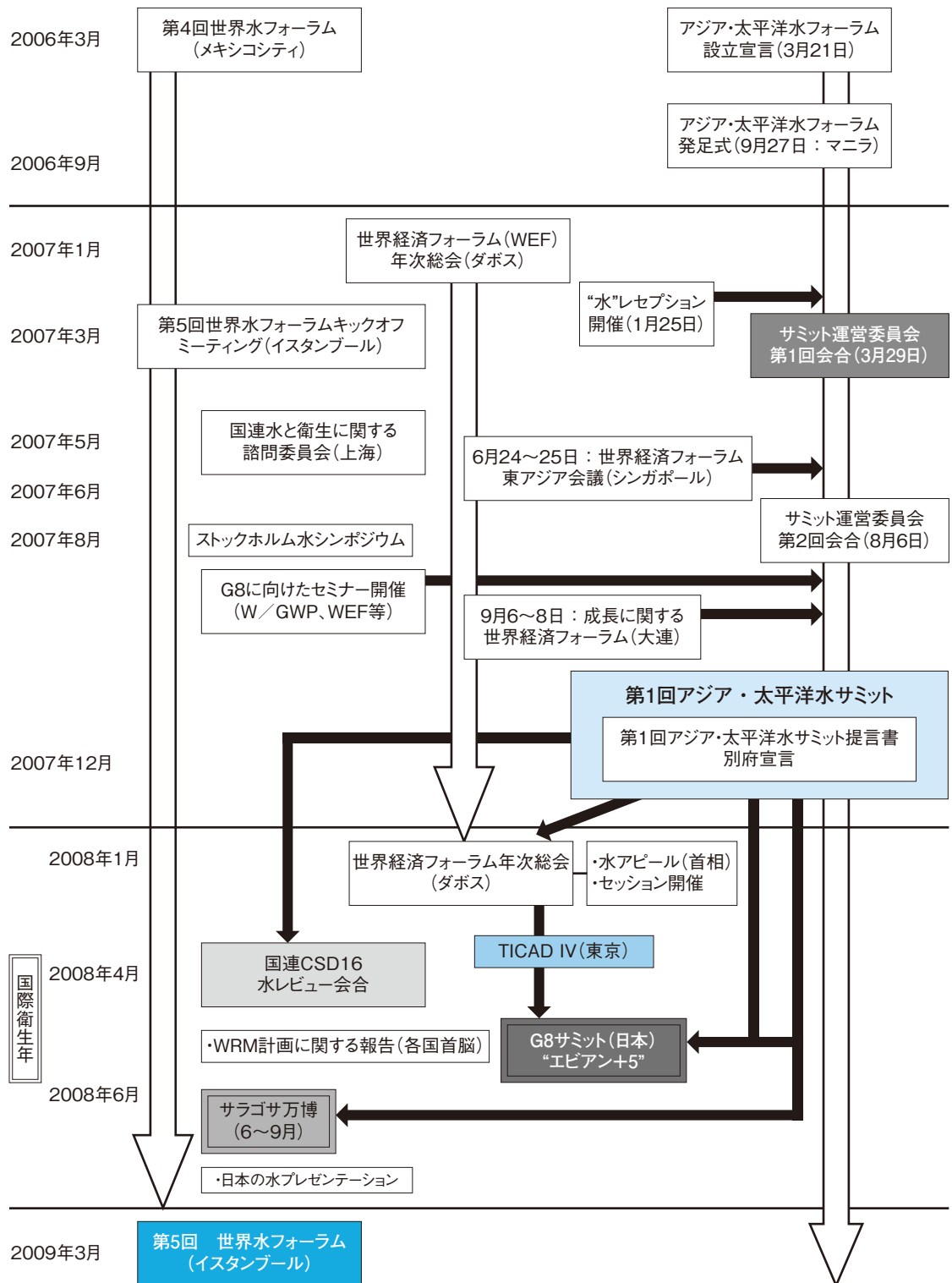
我々は、アジア・太平洋水フォーラムの仲間が作成したポリシーブリーフを支持する。

我々は、この提言の実施に向け、各国政府の努力を促す。

我々には、このビジョンを実現する意志と勇気がある。

(出所) 第1回アジア・太平洋水サミット発表資料

(資料2) 第1回アジア・太平洋水サミットからG8北海道洞爺湖サミットへ



(出所) アジア・太平洋水フォーラム事務局 (日本水フォーラム) 資料